

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホーム太陽十津川折立の郷
所在地 (県・市町村名)	奈良県吉野郡十津川村折立364番地の1
記入者名 (管理者)	山村 亮憲
記入日	平成 20年 4月 10日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	地域密着型サービスとしての理念は、できています。	
<input type="checkbox"/> 2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	日々の作業上自然に取り組んでいます。	従業員に何処まで理解して貰っているかと言う事については疑問はあります。
<input type="checkbox"/> 3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	契約書や、運営規定に、そうした事が織り込まれていて説明しています。	其れ以上の事と成ると中々其処までは難しいです。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	ご近所とは、より良いお付き合いを、させて頂いています。散歩の途中に声掛けしてもらったり、畑の収穫のお手伝いもしてもらっています。	玄関には季節の花があり、種まきがして有り苗を作っています。今はつつじが満開になっています。
<input type="checkbox"/> 5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域活動のふれあいサロンに参加していますし、地域のお祭りや、お花見会にご招待して頂く事もあります。	お花見会・盆踊り・氏神様のお祭り・運動会・折立ふれあいサロン等

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者の方がお集まりのふれあいサロンに参加させて頂くことは、お互いの暮らしに、役立っていると思います。まだまだ力不足で、十分な事は出来ていません。</p>		<p>地域に返すだけの力は出来ていないと思います。課題です。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>少しずつでは有りますが、評価を受けて、改善に努力しています。</p>		<p>活用までは出来ていない様に思います。これも課題です。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を開催して報告し話し合いました。そこでの意見をサービスの向上にいかしています。</p>		<p>二回目、三回目と充実させていきたい物です。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>村担当者とは、運営推進会議以外にも行き来する機会をつくっていますし、村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		<p>十津川村とは好意的にお付き合いさせて頂いています。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち勉強しました、しかし個々の必要性を話し合う必要な人がおられませんので活用できるような支援はしていません。</p>		<p>必要としている方が居られないように理解しています。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止関連法について、わざわざそれだけを学ぶ機会を持ったわけでは有りませんが、高齢者虐待防止関連法については、其れなりに何かの機会に、勉強したと思います。利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めています。</p>		<p>虐待はありません。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書の説明に付いては一様一通り注釈を入れて読んで聞いて頂いていますので理解し納得して頂いていると思っています。</p>	<p>契約に付いては、十分な説明と了解していただけるよう説明しています。解約に付いては、一応意見は聞きますが、言い訳することはしていません。素直に了解しています。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の、不満や苦情は管理者から外部者ケアマネージャへ連絡、報告、相談しています。それらを社内にも報告し運営に反映させています。</p>	<p>ホール内にも掲示していますし、契約書にもうたって有ります。苦情、相談、指摘に付いては、指示書が作成されます。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホームでの利用者の暮らしぶりの写真や健康状態等については手紙で、家族様に定期的及び個々にあわせた報告を請求書、領収書送付時に報告しています。</p>	<p>緊急な体調の変化に付いては、家族さんに、電話による報告指示を受け対応しています。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族様の、不満や苦情は管理者から外部者ケアマネージャへ連絡、報告、相談しています。それらを社内にも報告し運営に反映させています。</p>	<p>職員への指示書が作られます。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を特に設けていないが、日々の生活の中で、普通の会話の中で出た意見や提案を自然に聞き自然に反映されています。</p>	<p>特に、それを文章化していると言う事はありません。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めています。</p>	<p>特に新しい入居者が有った時、暫く馴染むまでは、要注意体制で当たっています。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、職員が代わる事がほとんど無い為、利用者へのダメージはほとんど無い。</p>	<p>職員の交代は極めて少ないです。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>難しいことは特にしていませんが、機会が有る毎に働きながらトレーニングして指導する事は有ります。オムツの交換時、食事介助の手順等、入浴介助の注意点等</p>		<p>事業所にとって必要な物について資格の勉強講習等受けてもらっています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は地域の同業者と交流する機会を持っていますが、職員が地域の同業者と交流する機会を持っている事はありません。ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みはしていません。</p>		<p>特にしていませんが。十津川村地域密着型サービス運営委員会に参加し情報交換をしています。管理者や職員が同業者と交流情報交換はありません。但しイベントについてご招待頂く事に付いては、参加させて頂いています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>時折する、ミーティングや、その後の食事会が飲ばれているようです。もう少し回数が増やせるともっと良いのかも！！</p>		<p>忘年会・新年会、ミーティングの後の食事会等は運営者の仕事、従業員のストレス軽減は管理者がしてしてくれます。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個々の職員の努力や実績、その他勤務状況等は常に把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>		<p>管理者の提言で、従業員の勤務評価によって再考する事があります。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所前、本人さんと面接は、ほとんどありません。</p>		<p>家族さんが見かねて、預かって欲しいと言うのが本音で、本人さんの説得は家族さんの思考です。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族さんからの相談は、良く聴く機会を作り、その総てを受け入れています。</p>		<p>家族さんの思い道理に進んでいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	此方に相談に来られるという事は既にどこにも行くところが無くて最終選択として来られていますのでそのつもりで対応させていただきます。		せっぱ詰まって、どうしようも無く、相談に来られています。支援の必要性の上に立って、何をどうすればよいのか判断して相談し、支援に入ります。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族さんとは相談しますが本人は大抵の場合優しく騙されているか、強制的に連れて来られているかどうかです。本人さんが納得している場合でも、着たその日から入所となります。徐々に馴染めるのは、入所してからです。		私は太陽が良いと思うからそこに行くと言って来て下さっている方も居られますが、その殆んどは本人の意思ではないように思います。馴染みと言う事は、殆んど有りません。ぶっつけ本番です。其れが現実だと思っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を共に築いています	一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を共に築いています。		利用者さんから色々な事を教えて頂いています。昔の話戦争体験談や嫁姑のもめ事や、ことわざ、隠語、!!! 今年は何草栽培について指導を受けます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来れる家族さんには時々ホームに来て頂き本人さんと面会等して頂き共に過ごして頂いています。		家族さんへの支援まではなかなか行き届きません。本人さんの事に付いての状況報告位です。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人さんが、落ち着けば、家族さんとの再会と、より良い関係は元に戻ります。		来られない家族さんには、近況情報を写真や手紙でお知らせしています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人によりませんが、認知の度合いで変わってきます、その人により支援は変わります。仏さんを持ってきて頂いて、毎日お茶お花をお世話しておられる方も居られます。		仏さんを持ってきて頂いて、毎日お茶お花をお世話しておられる方も居られます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが常に利用者を把握して心配りするのが最重要課題の支援作業だと思いを掛け合い注意して努めています。		一つの家族のような形態になっています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	付き合いは大切にしています。		グループホームを退所され自宅に帰られた利用者について、続いて訪問介護でのサービスの継続で、お付き合いしています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方の思い道理の生活をして頂いています。思い通りに成らない事が出来た時は、兎に角本人に納得してもらえる説明をして理解してもらいます。		常に散歩に出たい方、台所でお手伝いしたい方、畑に行くのが好きで草引き種まき苗植え収穫皮むき等が好きな方、掃除の好きな方、洗濯物の好きな方、食べる時だけおきてきてそれ以外は寝ていたい方、1日中、日記を書いていたり新聞や本を読んでいる方、10人十色です。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています。ゆっくりと時間を掛けてお話をすると見えて来る物が有ります。何で帰りたいの、どうしたいの？		回想法、昔話の好きな方ばかりです。生き生きとお話して下さい。生活歴の中から、「何でが」「そう言う事か」と分かる事が好く有ります。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	努めています。		一日の過ごし方については顔色を見ながら、天気を見ながら季節を見ながら気分を見ながら予定を見ながらその時々に合わせて相談したり指示したり思い思いに進めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は本人主導型で行われ、本人と家族の意見が重要視され介護者の意見を参考に作成されています。		現実の介護計画は本人主導型で行われているはずですが、本人より家族の意見が重要視され介護者の意見を参考に作成されているのが実情です。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し以前に対応出来ない変化が生じた場合家族さんと地域包括支援事業所に報告しケアマネージャが現状に即した新たな計画を作成する予定してます。		モニタリングは常に心がけていますが、現場で見た事は、改善方向に進んでいます。文章のほうはなかなか付いて来れないのが現実です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録をしています。実践・結果、気づきに付いては見なおして活かす為に指示書が作成されます。		指示書に従って行動して頂いています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来るだけの事は、させて頂いています。		訪問介護事業所が併用しておりヘルパーさんが常駐しており介護タクシーが有る為移動には何かと便利です。但しグループホームは、多機能型ケアハウスと同一サービスの提供事業者ではありません。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向は判らないが協力して頂いています。		地域密着型サービス運営委員会、グループホーム運営推進協議会等通じ協力して支援しています。地域資源の利用として十津川村には掛け流しの温泉があり温泉入浴や、足湯を利用をさせて頂いています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険ではそんな事出来無いと、おもっていますのでしていません。		介護保険以外の事で、地域資源の利用に付いては、村内の公衆浴場掛け流しの温泉を無料で利用させて頂いています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは常に密接にお付き合いし協働しています。		権利擁護について、勉強はしていますが必要に迫られる事は今の所ありません。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かり付け医とは常に親密な関係を保ちながら努力しています。		必要に応じ診療、往診、電話による指示等適切に対応して頂いています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	村内に専門医は居られませんが、村外の専門医に利用者の認知症に関する診断や治療を受けられる様に支援しています。		御所市、秋津鴻池病院送迎
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しています。		日常の健康管理をして頂いています。週2日
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	1日も早く帰って来て頂くよう思っています。		病院の生活支援相談員の方から、退院後の支援について相談しあっています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り指針が整備されています。		終末期対応も経験の積み重ね実績を持っています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取り指針が整備されています。		重度、終末期には特に、家族との連携、主治医との連携スタッフ間の連携、特に報告、連絡、相談、ほうれん草を重視した体制で臨みます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	サマリー交換や、十分な話し合いをさせて頂いています。		退所に付いても協力的に、情報交換をしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	十分注意してつもりです。	十分に注意させて頂いています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者さんと相談しながら決めたり納得のいく説明をして理解してもらっています。	ゆっくり話をしていると、色々な事が見えてきます。そうか、こんなことを考えておられたのかと思うことは沢山あります。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大卒の流れは有りますが、時間に縛られた過し方はありません。その人本人の気持ちを尊重した支援を行っています。	常に散歩に出たい方、台所でお手伝いしたい方、畑に行くのが好きで草引き種まき苗植え収穫皮むき等が好きな方、掃除の好きな方、洗濯物の好きな方、食べる時だけおきてきてそれ以外は寝ていたい方、1日中、日記を書いたり新聞や本を読んでいる方、10人十色で強制する事無く自由に生活できるよう支援しています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	皆さんご自分で服を選んで着て、お早う御座いますと言って起きて来られます。理容師、美容師さんがホームに出張して頂いています。中には何時も行っていた床屋、理髪店に行かれる方も居られます。	理容、美容に行かれる方に付いては送迎の支援をします。中での事は自由にして頂いています。見守りのある中で外部の方ともお話されています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何んと言っても食事が一番楽しいものです。準備の段階から配膳下膳片付け食器洗い食器片付け掃除自主的にお手伝いして頂く事で生き甲斐を持ってもらっています。	土の付いた物を畑から取って来て洗って皮むきしている時は本当うれしそうです。これで何を作ろうか！！
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	悪いですがタバコは利用者と従事者、来客者全員禁煙にさせて頂いています。お酒に付いては本人の病状に付いて医師の指示に従っています。	飲み物、おやつは偏る事無く色々な物が出てきます。朝夕のおやつ時に出て来ますが時折自分の部屋に持ち込む方も居られます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日頃の行動パターンを見て排泄習慣を覚えそれとなく誘導しています。失敗した時は、個室対応しています。		排泄物は新聞紙に包み、衣類はビニールに入れ飛散しないよう目立たない様気配りして処理しています。本人からの訴えも有りますが、黙示して、利用者の居場所から速やかに処理しています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は概ね決まっていますが其れに拘る事は有りません。 ゆっくりのんびり入っておられる方も有りますが、カラスの行水の様な方も居られます。		入浴の希望があれば 10分 も有れば何時でも誰でも入れます。 失禁や失便した時は直ぐにシャワー浴、入浴とその時々に合わせて支援をしています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	総て個室持ちですから、ご自由に全員安心して気持ちよく休息したり眠れる様に支援しています。		特に他人の部屋に入られている場合は、注意して見守っています。 自然に仲良くされている場合と、片方の方がどう思っておられるかによって頃合いを見て片方を誘導する事も有ります。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カラオケ、草引き、縫い物、掃除、洗い物、皆さん好きな事ばかり一日中日記を書いたり新聞を読んだり、なんかうまいもんちょうだい私京都女子大出てるのよ 91 歳昔は良かった！！		田舎のお年寄りのする事、皆さん好きで良くされます。畑の仕事は、その時期時期に応じて、よく知っておられます。収穫の喜び、洗って、剥いて、切って炊いて、食卓に出た時の喜び大変にぎやかです。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は一部の方しか持っておられません。所持や使用する事は、 8割 方有りません。一部の方だけ自分で管理する能力がある方だけ持っておられます。		近くにお店は日用食品店1軒だけです。他に店屋さんらしき物はありません。時折買い物に同行して下さる利用者さんも居られますが、自分の物をお金を出して買い物する事はありません。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の様子を見てこれから散歩に行こうか、畑に行くか、橋の上歩く、お花見に何処へ行こうかと言う会話に成ります。		その日の実情に応じて其れなりに変化を持たせた支援を実行しています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	様子を見て出来る場合は可能ですが、何時もいつもと言う訳には行きません。		何処か行って見たい所あると言う会話はします。その時行けなくても行ったような会話はしています。又行こうね。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたい人は自分で掛けられます。公衆電話が有ります。掛けたいが掛けられない方に付いては、代わりに掛ける支援をしています。		電話、手紙思い思いに出来る事をしておられますし其れについて出来る限りの支援をさせて頂いています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来る者拒まず、訪問は自由です。お茶お菓子は出てきますよ。		家族さんや知人の方の出入りは自由です。但し本人の病状により持ち込みの物に、制限させて頂く事があります。糖尿病の入所者に甘いものを渡さないで下さい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は、していません。		身体拘束を必要としていませんし考えても居ません。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	24時間玄関の鍵は掛かっています。個室には外から鍵をすることはありません。昼間裏木戸は開いています。		玄関中からは出られませんが外からは、自由に入れます。1～2人、時とも無く外出したがる人がいます、付いて行ける時は、30分以内なら自分で帰って来られますが其れを過ぎると探すのに大変時間が掛かります。知らない間に出て行かれると困るので中から出られないようにしています。安全確保の為です。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間本人の安全確認に配慮しています。		常に、誰が何処で何しているスタッフ同士で連携を取っています。今どんな様子、確認を取り合っています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	スタッフが居る時は極く普通に注意の必要な物も、出ています。スタッフが帰る時設錠されます。		其れに寄るトラブルや事故が無いので危険だと言う実感が無いのかもしれませんが。入所間もない方がお餅と石鹸を間違えて食べようとして驚いた事がありました。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止には、細心の注意を払っています。		知らない間に出て行って警察のお世話に成った事もあります。畳みにケツマズイテ倒れて骨折と言うのもあります。畳みに三角板をつけました。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や初期対応について訓練を受けましたがその後定期的には習っていると言ったことはありません。		次回までに、対策と訓練を実行したい物です。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議を開催して報告し話し合いました。そこでの意見をサービスの向上にいかしていきます。		次回運営推進協議会の課題としています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクを回避する為に身体拘束することはありませんが、スタッフのわからないうちに外出されると困るので中から出られない外から自由に入れる設錠がして有ります。スタッフが承知の上で、一人外出、同行外出しています。家族さんには承諾を得ています。		自由と安全管理の谷間です。そのどちらも実現させたいと希望しています。自由に開けられる鍵。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	特に注意深く観察している事の一つです。		看護師の指導で、診察に行く事もあります。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬とその効果について説明書の通り理解して居ます、服薬管理は、医者からの指示どおり管理し提供しています。		病状の変化に付いては、動物的感を働かせた所で、薬の加減をすることも有ります。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	最近では便秘が原因で困っている事はありません。		食べ物や、運動が良いのと、皆さん良く笑い過ぎる位笑っておられます。笑いはどんな薬よりも効果がありそうです。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアについて完璧に毎回全員については行っていませんが、出来る限りして頂くように心がけています。		月2回口腔ケア支援の為訪問歯科診療を受けています。口腔ケア指導歯垢除去、入れ歯手入れ虫歯予防等。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取不足はお年寄りにとって命取りに成ると心がけています。毎食の味噌汁、お茶、朝夕のおやつ時の水分補給、お茶や、味噌汁の摂取の少ない方に付いては、意図的に牛乳をお勧めしています。		食べる量によって、健康管理もしています。多い成りに心配ですし少なくとも心配します。好き嫌いもあって調節が必要です。毎日の食事観察は、記録にも成っています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	風邪を引いた方の来客はお断りしています。スタッフに付いて風邪ならまず3日は休んで頂きます。利用者に付いては、ゴホンと咳をすれば、今咳をしたのは誰ですか、はい、これを飲んで下さいと咳止め風邪薬が飛んできます。		特に敏感に、注意し、対応しています。日頃から館内に食堂に、厨房に張り紙して、其の都度手洗い清潔を、やかましく伝え実行しています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	特にノロウイルスと食中毒に注意をしています。		一寸気になる食材は使わない、まだいけるは、もう駄目だ、元気な若者とは違うのだからを原則に貝類と牡蠣は出さない。、清潔面では特にうるさく言って居ます。手洗い、消毒清潔に心がけています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	何時来ても、季節の花が咲いています。葱や、蒨、が有り、今キャベツの芽が出掛けています。		今年は、椎茸が楽しみです。100本の原木に菌入れも済みました。今は蒸しています。寒冷紗の中で!!!今は寝ています、起こさないで下さい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用云々より兎に角全館内に不快な音や光が有る事は有りません。田舎の静かなたたづまいです。柔らかな日差しに、小川のせせらぎが聞こえる程度です。国道168号線、時折走る車の音も、間に南都銀行十津川支店が有って殆んど聞こえる事も無く静かな生活空間です。		最高に居心地のよい空間です。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居場所の工夫はしてあります。		各部屋に、トイレ、洗面台が用意されています。排尿、排便、洗顔、口腔ケア、整容等自室で出来ますし、ホール、台所、浴室等は、総てバリアフリーに成っています。ローカは30メートル直線で歩行訓練にも最適です。ホールには畳が敷いて有りホームこたつが有り座布団が有りソファが有りテーブルと腰掛椅子は駒付き駒無し両方有ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みは自由にして下さいとは言っていますがあまり持ち込みをされるご家族さんはありません。		住んでいる内に何かと物が増えて行って居ます。自分の暮らしに成って来ているのではないのでしょうか。中には生活のリズムの中に仏壇神棚にお花お水等お供えする道具を差し入れて頂く事をお願いした事もあります。そうすると、帰る帰るが半減した利用者さんも居られます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節は外気温との差が無い様に配慮しています。		寒い冬は温度を上げるより一枚肌着を多くし厚手の肌着や半纏又は甚平襟巻き等昔ながらの防寒着で過して、温度を上げずに済むよう工夫しています。その方が遥かに風邪を引く回数が少ないです。健康管理にはこの方が良く、黴菌の繁殖も抑えてくれるようです。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活が出来るよう工夫しています。自分の事は自分で、して頂くよう支援させて頂いています。		各部屋に、トイレ、洗面台が用意されています。排尿、排便、洗顔、口腔ケア、整容等自室で出来ますし、ホール、台所、浴室等は、総てバリアフリーに成っています。ローカは30メートル直線で歩行訓練にも最適です。ホールには畳が敷いて有りホームこたつが有り座布団が有りソファが有りテーブルと腰掛椅子は駒付き駒無し両方有ります。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入所一時期は混乱されてお世話するのも大変な時期がありますが早い方で一月以内、遅い方でも、三ヶ月掛ければどんな方でも落ち着いた生活に戻っておられます。自分らしい暮らしをして頂いています。		常に散歩に出たい方、台所でお手伝いしたい方、畑に行くのが好きで草引き種まき苗植え収穫皮むき等が好きな方、掃除の好きな方、洗濯物の好きな方、食べる時だけおきてきてそれ以外は寝たい方、1日中、日記を書いたり新聞や本を読んでいる方、10人十色で好きな様にして頂いています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関には季節の花や、野菜の種が蒔かれています。今はさつきの花が満開です。		常に季節の花が植えられています。今年は椎茸の原木100本に全員で菌植えをしました。収穫が楽しみです。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
		○	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)